

■ 記念講演 (15:10~16:40) 多目的ホール

演題

「アクティブ・ラーニングの学習評価」  
主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

講師：早稲田大学教職大学院 教授 田中 博之 氏

講師紹介：大阪大学人間科学部卒業後、大阪大学人間科学部助手、大阪教育大学専任講師、助教授、教授を経て、2009年より現職。

主な著書：「アクティブ・ラーニングの学習評価」(学陽書房 2017)  
「アクティブ・ラーニングが絶対成功する！小・中学校の家庭学習アイデアブック」(明治図書 2017) など。



動画研修パッケージ 「子どもの学力を高める家庭学習のあり方」  
—家庭学習力アンケートを活用した取り組みを基盤として— においても御講義いただいています。(詳しくは、学びの丘 Web ページへ)

■ 資料展示 (11:15~17:00) 多目的ホール

研究や研修の様子や成果物を展示しています。是非ご覧ください。次は一例です。

◆ 研修員生活：研修員の研究や修養の一場面の紹介



◆ 教員の育成指標や到達度調査結果分析と指導のポイント等

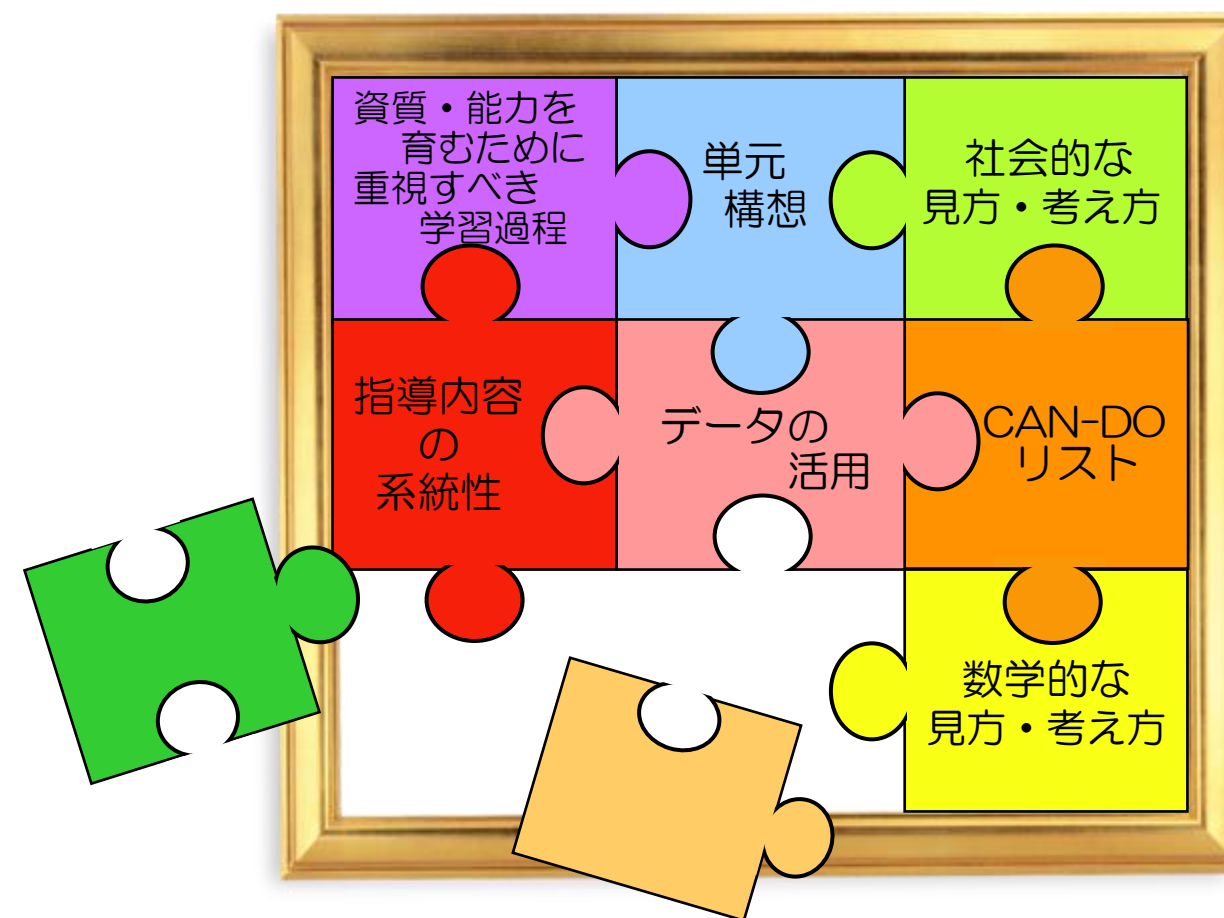


- 問合せ 和歌山県教育センター学びの丘 学校支援課  
〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町 3353-9  
県立情報交流センターBig-U 内  
TEL : 0739-26-3494 FAX : 0739-26-8120
- その他 経年研修（初任者研修，2年次研修，3年次研修，6年次研修，中堅教諭等資質向上研修）の選択研修として参加することができます。

平成30年度和歌山県教育センター学びの丘

研究報告会 (第2次案内)

学び続ける教職員の資質・能力の向上，学校の教育力の向上，  
児童生徒の「確かな学力」の育成をめざして



日時：平成31年2月2日(土)  
11:15~17:00 (受付 11:00~)  
会場：和歌山県教育センター学びの丘  
和歌山県田辺市新庄町 3353-9  
県立情報交流センターBig-U 内

## ■ 日程

※午後からの参加も可能です。



11:00 11:15 12:00 12:30 13:00 14:55 15:10 16:40 17:00

受付	研修A (生物実験室)	昼食 休憩	午後 受付	研修員発表① (実技教科研修室)	休憩 移動	記念講演 (多目的ホール)	資料 展示
	研修B (化学実験室)			研修員発表② (生物実験室)			
	研修C (物理・地学実験室)						
	研修D (実技教科研修室)						
資料展示 (多目的ホール)							

□多目的ホールは、Big-u 1階、生物実験室、化学実験室、物理・地学実験室、実技教科研修室は、Big-u 2階です。

## ■ ミニ研修 (11:15~12:00)



研究の成果を生かした教育センター指導主事による体験型研修です。

	タイトル (関連教科)	内容
研修A 生物実験室	【理科】 「のぞいてみよう、 ミクロの世界とマクロの世界！」	・電子顕微鏡 ・プラネタリウム鑑賞
研修B 化学実験室	【外国語】 「みんなで考えよう！明日からの 外国語の授業@MANABI Global Hill」	・「We Can」に 掲載されている言語活動 等
研修C 物理・地学実験室	【特別支援教育】 「ICTで広がる特別支援教育 ～タブレットを使って学んでみよう！～」	・タブレットを使った コンテンツ体験
研修D 実技教科研修室	【教育全般】 「もう迷わない、 今見るべき動画研修パッケージはこれだ！」	・学びの丘 Web ページ及び動画 研修パッケージのコンテンツ と活用方法の紹介

## ■ 研修員発表 (13:00~14:55)



研修員が、所属校と連携しながら、教育課題の解決をめざして研究に取り組んできた成果を発表します。発表は、報告20分・質疑応答5分の25分間で行います。コメント用紙への記入も含め、様々な御意見をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

なお、発表②(生物実験室)は14:30までです。その後は、発表①もしくは資料展示を御参観ください。

## 研修員発表①：2階 実技教科研修室

	研究テーマ	発表者
13:00	開会	
13:05-13:30	「数学的な見方・考え方」を働かせ、 問題を解決する力の向上をめざす算数科の授業づくり —図形領域における系統性を踏まえた単元構想を通して— 教師も子供も、つながりが見えれば算数科が楽しくなる。そんな学習のつながりを意識した算数科の授業づくりについて、第5学年「面積」の単元を例に説明します。	 田辺市立会津小学校 教諭 西川 朋美
13:30-13:55	小学校国語科における、目的に応じて読み、表現できる児童の育成 —説明的な文章の単元構想を通して— 児童に身に付けさせたい「読むこと」の力の明確化と定着をめざしています。指導事項系統表や単元構想モデル等を作成し、それらを活用した説明的な文章の授業づくりについて提案します。	 新宮市立三輪崎小学校 教諭 西田 友行
休憩・移動 (10分間)		
14:05-14:30	理科の見方・考え方を働かせ、課題に取り組む力を育む理科授業 —検証計画の立案を見据えた仮説の設定を通して— 中学校理科における、仮説の設定と検証計画の立案を生徒が主体的に遂行するための取組について研究しました。単に実験を計画するだけでなく、それが質の高いものとなるような手立てを提案します。	 和歌山市立東中学校 教諭 須川 滯
14:30-14:55	子供が社会的な見方・考え方を働かせる授業づくり —地域教材を生かした単元学習を通して— 地域にある「ひと・もの・こと」を教材化することで、子供が「社会的な見方・考え方」の広がりや深まりを自覚し、社会の仕組みや社会との関わり方について主体的に考えられる授業づくりを提案します。	 和歌山市立雑賀小学校 教諭 片峰 麻美

## 研修員発表②：2階 生物実験室

	研究テーマ	発表者
13:00	開会	
13:05-13:30	指導内容の系統を見通した説明的な文章の指導 —低学年における授業づくりを通して— 系統表を作成することで、身に付けさせたい力を明確にしました。児童が何を学んだかを自覚させられるように、「学びの手順シート」を活用した授業づくりを提案します。	 湯浅町立田栖川小学校 教諭 浦西 泰子
13:30-13:55	CAN-DOリストを活用した小学校外国語科の授業づくり CAN-DO リストを活用して、外国語を使って何ができるようになるかを明確にした授業づくりについて研究しました。目的や場面、状況などに応じてコミュニケーションを行う力の育成をめざしています。	 海南市立巽小学校 教諭 松尾 竜典
休憩・移動 (10分間)		
14:05-14:30	「データの活用」領域における授業づくり —統計的探究プロセスを通して— 新学習指導要領の完全実施に向け、「D データの活用」領域で求められる数学的に考える資質・能力の育成をねらいとし、研究を行いました。統計的探究プロセスを取り入れた授業づくりについて提案します。	 紀の川市立中貴志小学校 教諭 雑賀 正登